

環境学習実施報告書

<武雄市立 北方小学校 4年生 60名>

一般社団法人 佐賀県産業資源循環協会青年部

実施概要

- 日 時 : 令和3年7月15日(木) 8:30～
9:35～ 座学
10:35～ 体験学習
11:30～ 約束の木
- 場 所 : 武雄市立北方小学校(佐賀県武雄市北方町大字志久1389)
- 参 加 者 : 青年部 16名(14社)
- 使 用 車 輛 : 全3台 4tパッカー車(三協環境開発)
4tクラム車(谷田建設)
13tウイング車(イワフチ)
- 取 材 関 係 : 建設新聞、cable one



～はじめに～

我々、産業資源循環協会青年部(以下、青年部とする。)は「CSR2プロジェクト」の一環として、毎年、不法投棄撤去のボランティア活動を行っているが、不法投棄そのものの撲滅を目指し、平成26年度から佐賀県内の小学校に出向き児童に対して、今回で11回目となる。

環境学習の内容は、【佐賀県の廃棄物の現状】、【不法投棄(ごみのポイ捨て含む)による環境への影響】、【リサイクル促進】、【使用車輛の危険性】等を現場からの声を含め学習する事により、不法投棄を撲滅することを狙いとしている。

武雄市立北方小学校は、三協環境開発の釜崎智徳氏のお子様が在学中であることから、釜崎氏を通じて、我々青年部の活動内容や環境学習に込めた思いなどを学校側に話し、環境学習の申し出を行ったところ、快く受けて頂いた。

～環境学習の内容～

①座学

座学学習は、パワーポイントを用いて授業を行う。県内の不法投棄の現状、川に混ざった異物を綺麗にする為に必要な水の量をお風呂の杯数などに例えるなど興味を持ってもらえる様工夫し説明を行った。

尚、講師を行った釜崎氏のお子様には、講師であることを内緒にしていた為、講師登場でビックリとするとともに嬉しそうな顔が見れ、サプライズは大成功となった。

また、県内のコロナ感染者数は減少傾向にあるが、集合時の検温や学習時のマスク着用など、感染防止対策は前年同様行い対応した。



～授業風景～



②体験学習

体験学習は、運動場に3ブースを作り各ブースを1クラスずつ回り学習してもらった。

◆2tパッカー車(車両:三協環境開発 説明:中原鉄工所)

ゴミの分別で入れてはいけない物などを知ってもらう事や、ごみの減量の大切さを学習。ごみの収集に使用する車両への投入体験を行い、どういった風にゴミが回収されるのか、また身近に見かける作業車の危険性についても同時に学習。



～危険箇所の説明・投入体験～



◆4tクラム車(車両・説明 谷田建設)

ビルやマンション、木造住宅の解体現場から発生する木くずのチップ堆肥化や、瓦を粉砕してチップとして駐車場舗装などに再生利用されている事例を紹介。また解体現場で使用しているクラム車を持ち込み、普段身近で見ることのない働く車を見学。

～解体廃棄物のリサイクル説明～



◆ウイング車(車両:イワフチ 説明:サカンキョウ)

段ボール・新聞・雑誌・缶・ペットボトルのプレス品を使い、生活の中で排出されるリサイクル出来る物やリサイクル後の製品について説明を実施。またプレス品の重量当てクイズやペットボトル成型前のサンプルに触れて体験。



～資源物説明～



③約束の木

今回の環境学習を受けて、児童たちが今後約束出来ることを考え葉っぱに記入し、木に張り付ける事で1本の約束の木を作成。また代表者を選出し、他児童の前で約束出来る事を発表してもらった。児童からは色々な目標が発表され、「もったいない」という言葉に関心を持ってもらうきっかけになったのではないかと感じた。



令和3年度 環境学習参加者一覧

NO.	会社名	氏名	
1	佐賀衛研(株)	清瀬 康貴	
2	(株)西村商会	青木 大作	
3	(株)谷田建設	谷田 将拓	体験講師
4	(株)谷田建設	中島 康雅	車両操作
5	(株)三協環境開発	釜崎 智徳	座学講師
6	(有)坂井商店	坂井 賢一郎	
7	(株)イワフチ	石橋 宏晋	
8	イワフチ運輸(株)	山崎 敏郎	車両操作
9	サキンエコリサイクル(株)	河原林 京平	
10	(有)寺崎資材工業	寺崎 森	
11	(一財)佐賀県環境クリーン財団	牧浦 達也	
12	佐賀環境整備(株)	石橋 建三郎	
13	(一財)佐賀県環境科学検査協会	松江 怜史	体験講師
14	(株)西有田土木	犬塚 武夫	
15	(株)中原鉄工所	中原 賢智	体験講師
16	(株)井手解体実業	奥村 輝一	
	14社	16名	